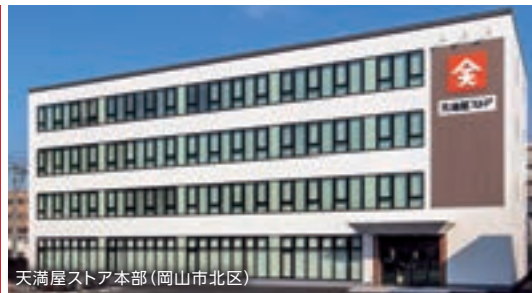


第52期報告書

2020年3月1日 ▶ 2021年2月28日



天満屋ストア本部 (岡山市北区)



天満屋ハッピーズ昭和町店 (岡山市北区)



天満屋ハッピーズ津島店 (岡山市北区)



天満屋ハピータウン原尾島店 (岡山市中区)

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第52期(2020年3月1日から2021年2月28日まで)が終了いたしましたので、ここに事業の概況についてご報告申し上げます。

1. 事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、国内外の経済活動が制限され、外出自粛や移動制限などから個人消費が冷え込み、景気は急速に悪化しました。「GoToキャンペーン事業」の需要喚起策など政府による経済活動への後押しがあり、一部で回復の兆しが見られたものの、都市部を中心に緊急事態が再び宣言されるなど、コロナ収束への道筋が見えない深刻な状況が続いております。

小売業界におきましては、新型コロナウイルスによる新たな生活様式の常態化に伴い、業種・業態での影響度合いに濃淡が生じるなか、新常态への対応が企業業績に格差をもたらしました。

こうしたなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染症防止対策を最重要点とした事業活動に取り組むとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化にも努めてまいりました。

事業拡張につきましては、当社における岡山市内のドミナント戦略として2020年10月に津島店(岡山市北区)、12月に昭和町店(同)を新設いたしました。

この結果、当連結会計年度の営業収益は、694億57百万円(前年度比2.4%減)となりました。また、経常利益は23億85百万円(同14.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、7億98百万円(同38.8%減)となりました。

事業セグメントの概況は次のとおりであります。
(小売事業)

小売事業につきましては、コロナ禍により大型店舗への客足が遠のき、衣料品や生活用品の需要が減少する一方、巣ごもり消費や在宅勤務などを要因に内食需要が高まり、食料品は堅調に推移いたしました。

こうしたなか、新型コロナウイルス対策として、店内混雑緩和を目的に折込チラシの配布や大型イベントの自粛、営業時間の短縮、「おもいやり優先時間」の設定、QRコード決済の拡張および決済マネー事業者との共同キャンペーンによるキャッシュレス決済の推進など、安全に配慮した販売体制の構築に取り組むほか、自治体による自宅療養者向け配達サービスへの協力や2020年3月に移動販売事業の拡大を目的としたとくし丸事業の



取締役社長 野口 重明

子会社化などコロナ禍における生活必需品の提供使命をより一層果たすことにも努めてまいりました。さらに、従業員への感染防止対策支援やテナント家賃の減額要請への対応などを実施するほか、店舗および部門間の繁閑に応じて要員体制を見直すとともに、省力機器の導入や業務のデジタル化により働き方改革の推進および生産性の向上にも注力してまいりました。

また、3月に安定的な商品供給を目的に生鮮センター(岡山市南区)内に水産加工センターを開設、4月に東一宮店(岡山県津山市)の全面改装、7月に鴨方店(岡山県浅口市)を改装し、ホームファニッシングストア「ニトリ」を導入するなど既存店舗の活性化にも取り組んでまいりました。さらに、6月には、本部社屋の建て替えを行い、バックオフィスの最適化を目指し、フリーアドレス制の採用やデジタル化によるペーパーレスを推進するなど、効率的に業務を遂行できる環境を整備し、従業員の働き方改革に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の小売事業の売上高は、611億58百万円(前年度比2.1%減)となりました。

(小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売が主なものであり、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発の強化や生産性の向上に取り組んでまいりました。惣菜等調理食品の製造販売は供給カテゴリーの増加により収益回復が見られた一方、飲食部門は「GoToEat」による一部需要喚起がありましたものの、コロナ禍による客数減の影響を大きく受け厳しい状況で推移いたしました。

トピックス

この結果、当連結会計年度の小売周辺事業の売上高は、52億27百万円(前年度比7.6%減)となりました。

2. 対処すべき課題

今後の見通しといたしましては、新型コロナウイルスワクチンに期待が寄せられるものの、経済正常化には長期化が予測され、依然として先行き不透明のなか、厳しい経営環境が続くものと予想されます。

当社グループといたしましては、このような厳しい環境のなかで、コロナ禍により常態化した新たな生活様式への対応を最重点に取り組むとともに危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化にも注力してまいります。

小売事業につきましては、短時間や非接触でのお買物ニーズに対応するため、キャッシュレス決済の推進、取扱金券の電子化、ネット販売の拡大および清潔な店舗環境の整備などに努めることで引き続き感染防止策を徹底するとともに、コロナ禍における生活応援として、スーパーハッピープライス商品数の増加によるEDLP(低価格戦略)の強化やEdy付きハッピーカードの新たな販売促進およびSNSを活用した来店促進策に取り組んでまいります。また、2021年3月に岡南店駐車場に「アクロスプラザ岡南」(岡山市南区)の一部開業にあわせ岡南店の食料品売場をリニューアルオープン、4月に岡輝店(岡山市北区)、7月に府中天満屋(広島県府中市)を全面改装するなど既存店舗の活性化を進めるほか、株式会社天満屋および株式会社セブン&アイ・ホールディングスとの業務提携も深耕してまいります。さらに、業務のデジタル化による生産性の更なる向上や省エネ機器の拡大など環境に配慮した店づくりを通じて働き方改革や環境問題に取り組むとともに、激変する事業環境において迅速に対応できる強固な体制の構築にも注力してまいります。加えて、当社が認定を受けております「くるみん」や「健康経営優良法人」に基づく働きやすい職場環境づくりを進め、組織の活性化にも努めてまいります。

小売周辺事業につきましては、品質管理と衛生管理を一層強化するとともに、コロナ禍によるニューノーマルがもたらす多様なニーズに対応し、商品開発力の強化や生産性の向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年5月

「天満屋ハッピーズ津島店」オープン



2020年10月21日に津島店(岡山市北区)をオープンいたしました。大学や高校が多く立地する学生街という側面を持ちながら閑静な住宅街という佇まいのなかに立地し、幅広い層のお客さまをターゲットに、鮮度の高い生鮮食品、地元銘店の商品を多数品揃えるなど毎日、安心してご利用いただける、買いやすく便利で安全なお店を目指してまいります。

「天満屋ハッピーズ昭和町店」オープン



2020年12月10日に昭和町店(岡山市北区)をオープンいたしました。岡山駅から徒歩圏内に立地し、近隣のみなさまに加え、通勤通学や旅行客の方々など幅広い層のお客さまをターゲットに、高まる内食需要に対応した生鮮品・加工品を品揃えるなど駅前立地に合わせた利便性の高いお店づくりに努めてまいります。

業績ハイライト

■ 事業セグメントの売上高

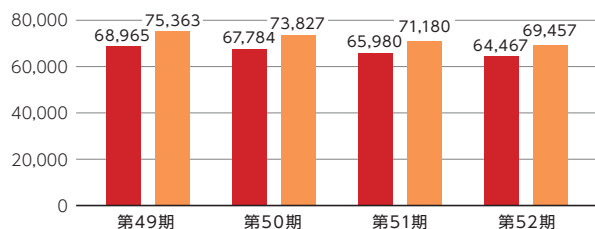
(単位:百万円)

事業セグメントの名称	2019年度		2020年度 (当連結会計年度)		前年度比 増減額 (△は減)	前年度比 増減率 (△は減)	
	金額	構成比	金額	構成比			
小売事業	食料品	47,018	69.0	48,100	72.5	1,082	2.3
	生活用品	7,013	10.3	6,855	10.3	△ 158	△ 2.3
	衣料品	8,311	12.2	6,118	9.2	△ 2,192	△ 26.4
	その他	116	0.2	84	0.1	△ 31	△ 27.0
	小計	62,459	91.7	61,158	92.1	△ 1,300	△ 2.1
小売周辺事業	5,657	8.3	5,227	7.9	△ 430	△ 7.6	
合計	68,117	100.0	66,385	100.0	△ 1,731	△ 2.5	

■ 単体 ■ 連結

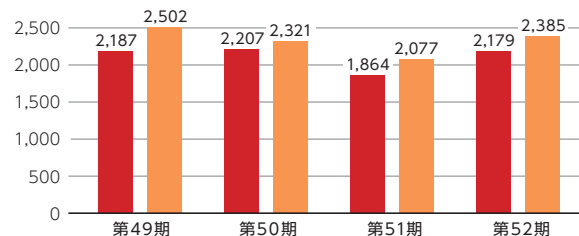
営業収益(売上高および営業収入)

(単位:百万円)



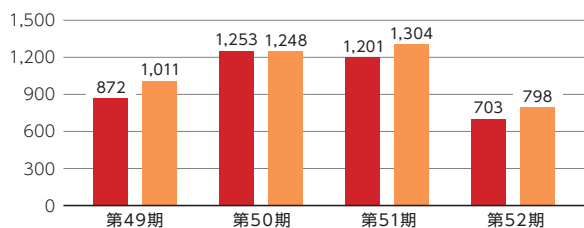
経常利益

(単位:百万円)



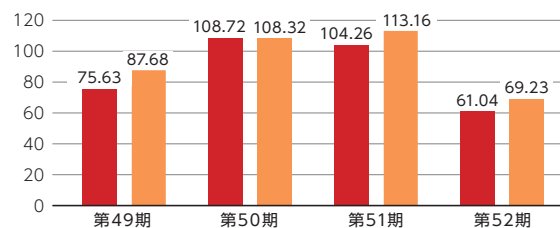
当期純利益

(単位:百万円)



1株当たり当期純利益

(単位:円)



(注)連結は「親会社株主に帰属する当期純利益」を示します。

連結財務諸表(要約)

■ 連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2020年2月29日現在	2021年2月28日現在
資産の部		
流動資産	6,988,605	6,375,864
固定資産	40,695,269	39,378,850
有形固定資産	29,397,336	28,543,526
無形固定資産	2,801,548	2,712,369
投資その他の資産	8,496,384	8,122,954
資産合計	47,683,875	45,754,714
負債の部		
流動負債	14,825,825	13,608,679
固定負債	11,899,676	10,465,250
負債合計	26,725,501	24,073,930
純資産の部		
株主資本	21,025,223	21,753,182
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,500	5,347,500
利益剰余金	12,007,099	12,747,558
自己株式	△ 26,876	△ 39,376
その他の包括利益累計額	△ 111,092	△ 119,820
その他有価証券評価差額金	41,464	41,886
退職給付に係る調整累計額	△ 152,556	△ 161,707
非支配株主持分	44,243	47,422
純資産合計	20,958,373	21,680,784
負債純資産合計	47,683,875	45,754,714

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2019年3月1日から 2020年2月29日まで	2020年3月1日から 2021年2月28日まで
売上高	68,117,022	66,385,912
売上原価	51,037,691	49,568,157
売上総利益	17,079,331	16,817,754
営業収入	3,063,597	3,071,270
営業総利益	20,142,929	19,889,025
販売費及び一般管理費	18,239,357	17,593,347
営業利益	1,903,571	2,295,677
営業外収益	325,230	192,757
営業外費用	150,820	103,284
経常利益	2,077,981	2,385,150
特別利益	282,115	—
特別損失	414,322	886,661
税金等調整前当期純利益	1,945,775	1,498,488
法人税、住民税及び事業税	618,735	643,815
法人税等調整額	17,325	50,887
当期純利益	1,309,713	803,785
非支配株主に帰属する当期純利益	5,279	5,578
親会社株主に帰属する当期純利益	1,304,433	798,206

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2019年3月1日から 2020年2月29日まで	2020年3月1日から 2021年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,219,307	3,365,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,377,224	△ 508,816
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,904,314	△ 2,624,458
現金及び現金同等物の増減額	△ 62,230	232,663
現金及び現金同等物の期首残高	870,820	808,589
現金及び現金同等物の期末残高	808,589	1,041,253

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表（要約）

■ 貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前事業年度	当事業年度
	2020年2月29日現在	2021年2月28日現在
資産の部		
流動資産	6,316,019	5,728,590
固定資産	39,972,180	38,746,491
有形固定資産	28,618,560	27,854,793
無形固定資産	2,796,690	2,701,499
投資その他の資産	8,556,928	8,190,197
資産合計	46,288,199	44,475,082
負債の部		
流動負債	14,905,053	13,899,492
固定負債	11,667,909	10,228,264
負債合計	26,572,962	24,127,757
純資産の部		
株主資本	19,679,886	20,313,352
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,500	5,347,500
利益剰余金	10,661,762	11,307,729
自己株式	△ 26,876	△ 39,376
評価・換算差額等	35,350	33,972
その他有価証券評価差額金	35,350	33,972
純資産合計	19,715,237	20,347,324
負債純資産合計	46,288,199	44,475,082

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書

(単位:千円)

科 目	前事業年度	当事業年度
	2019年3月1日から 2020年2月29日まで	2020年3月1日から 2021年2月28日まで
売上高	62,908,676	61,390,897
売上原価	49,534,604	48,021,744
売上総利益	13,374,071	13,369,153
営業収入	3,071,883	3,076,684
営業総利益	16,445,954	16,445,837
販売費及び一般管理費	14,842,625	14,366,114
営業利益	1,603,329	2,079,723
営業外収益	418,920	209,528
営業外費用	157,439	109,795
経常利益	1,864,809	2,179,456
特別利益	282,115	—
特別損失	413,824	884,904
税引前当期純利益	1,733,100	1,294,551
法人税、住民税及び事業税	504,664	550,035
法人税等調整額	26,643	40,802
当期純利益	1,201,792	703,713

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要/役員/株式の状況

■ 会社概要

2021年2月28日現在

商号	株式会社天満屋ストア
設立	1969年4月1日
資本金	3,697,500,000円
事業内容	食料品、雑貨、衣料品の小売業 (チェーンストア)
本店・本部	岡山市北区岡町13番16号 電話 (086)232-7265
店舗数	50店
従業員数	1,425名(うちパートタイマー等1,037名)

■ 役員

2021年5月27日現在

代表取締役会長	木住 勝 美
代表取締役社長	野 口 重 明
取締役	加 島 誠 司
取締役	赤 木 信 浩
取締役	武 本 俊 夫
取締役	中 村 哲 士
取締役	平 井 由 美 子
常勤監査役	羽 賀 之 雄
監査役	楠 田 教 夫
監査役	井 手 敬 一 朗

取締役武本俊夫、中村哲士、平井由美子の3氏は、社外取締役であります。
監査役楠田教夫、井手敬一郎の両氏は、社外監査役であります。
取締役武本俊夫氏は、東京証券取引所の定めに基づき、同取引所に
届け出た独立役員であります。

■ 株式の状況

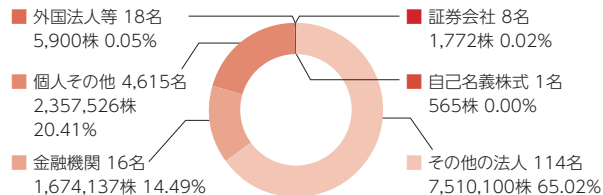
2021年2月28日現在

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,550,000株
株主数	4,772名

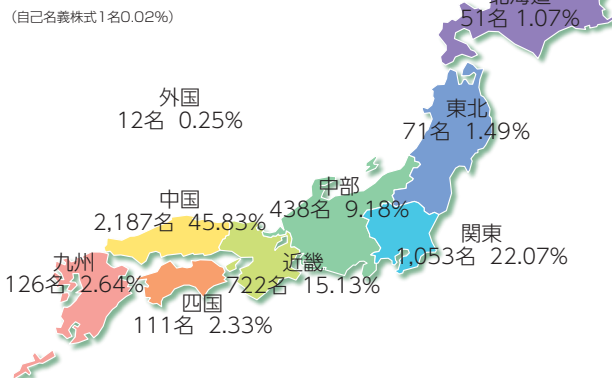
大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
丸田産業株式会社	2,766,000株	23.95%
株式会社イトーヨーカ堂	2,310,000	20.00
株式会社天満屋	1,474,400	12.77
天満屋ストア共栄会	943,300	8.17
株式会社中国銀行	376,800	3.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	369,200	3.20
天満屋ストア共和会	291,000	2.52
三井住友信託銀行株式会社	184,000	1.59
みずほ信託銀行株式会社	179,000	1.55
三菱食品株式会社	157,400	1.36

所有者別株式分布状況



地域別株主分布状況



株主メモ等

■ 株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 5月

基準日
定時株主総会 2月末日
期末配当金 2月末日
中間配当金 8月31日

そのほか必要あるときは、あらかじめ
公告して臨時に基準日を定めます。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先
電話照会先

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-782-031

インターネット
ホームページURL

[https://www.smtb.jp/
personal/agency/index.html](https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html)

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社
ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記の電話照会先まで
ご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されて
いなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀
行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしております。特別
口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照
会先をお願いいたします。

公告方法

電子公告とし、インターネット上の当社
ウェブサイトに掲載いたします。

<http://www.tenmaya-store.co.jp>

ただし、事故その他やむを得ない事由によ
って電子公告による公告ができない
場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所

東京証券取引所 市場第二部

株主ご優待制度

毎年8月31日および2月末日の100株以上ご所有の株主様に対し、「天満屋ギフトカード」もしくは「VJAギフトカード」を、次のとおり年2回贈呈いたします。

1回当たりの贈呈基準

ご所有株式数	天満屋ギフトカード	VJAギフトカード
100株～499株	1枚(1,000円相当)	1枚(1,000円相当)
500株～999株	1枚(2,000円相当)	
1,000株～1,999株	1枚(3,000円相当)	3枚(3,000円相当)
2,000株～2,999株	1枚(4,000円相当)	
3,000株～3,999株	1枚(5,000円相当)	
4,000株～4,999株	1枚(7,000円相当)	
5,000株以上	1枚(10,000円相当)	

使用方法などの詳しい内容は、当社ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.tenmaya-store.co.jp/company/ir/>



天満屋ギフトカード



VJAギフトカード